



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 共栄タンカー株式会社  
 コード番号 9130 URL <http://www.kyoeitanker.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林田 一男  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 新井 真市郎  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-4477-7171

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,299	15.4	1,255	64.3	607	△14.4	427	△27.5
25年3月期第3四半期	8,059	△13.5	764	△21.1	710	188.6	589	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 853百万円 (△1.3%) 25年3月期第3四半期 865百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	11.19	—
25年3月期第3四半期	15.43	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	51,466	8,502	16.5	222.34
25年3月期	50,168	7,649	15.2	200.02

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 8,502百万円 25年3月期 7,649百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 期末配当につきましては、本日(平成26年2月7日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	17.0	1,600	72.1	650	△14.6	220	908.7	5.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正については、本日(平成26年2月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結結果計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	38,250,000 株	25年3月期	38,250,000 株
26年3月期3Q	8,207 株	25年3月期	8,004 株
26年3月期3Q	38,241,915 株	25年3月期3Q	38,242,263 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策への期待感から円安と株高が進行し、国内景気の緩やかな回復基調が続いているものの、海外経済の不確実性等による下振れリスク懸念や消費税増税後の景気減速懸念など、先行き不透明な状況のまま推移しました。

海運市況は、大型原油船（VLCC）につきましては、9月まで低迷していた市況が10月に入ると冬場の需要期を迎え、中東からアジア諸国や米国ガルフ向けの荷動きが活発化したことに加え、西アフリカと南米からアジア向けの輸送需要が増加し、トンマイルが伸びたことなどによりWS60台まで上昇しました。石油製品船につきましては、米国からシェールオイル精製に関連する製品輸出が増えたものの船腹が過剰な状況が続いており市況は低迷しました。ばら積船につきましては、夏場まで低迷していましたが、秋に入り中国が鉄鉱石の輸入を増やしたことや、米国出しの穀物などの荷動きが好調となり、船腹供給過多の状況に変化はないもののハンディマックス型の主要航路平均はUS\$16,000程度まで上昇しました。

こうした経営環境の中、当社グループは大型タンカーを中心とする長期貸船契約を主体に安定した経営を目指し、営業基盤の強化を進めております。また、各船の運航効率の向上と諸経費の節減にも全社を挙げて努めておりますが、海運市況は大きく回復するまでには至っておらず当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

海運業収益は92億9千9万円（前年同期比12億3千9百万円増）となり、営業利益は12億5千5百万円（前年同期比4億9千1百万円増）、経常利益は6億7百万円（前年同期比1億2百万円減）、四半期純利益は4億2千7百万円（前年同期比1億6千2百万円減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ12億9千7百万円増加し514億6千6百万円となりました。流動資産はデリバティブ資産の増加などにより18億7千8百万円増加し46億8千2百万円となりました。固定資産は船舶減価償却の進捗や長期のデリバティブ資産の減少などにより5億8千万円減少し467億8千3百万円となりました。

負債の部は、未払法人税等や繰延税金負債などの増加などにより、前連結会計年度末に比べ4億4千4百万円増加し429億6千3百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金が増加し、繰延ヘッジ損益が増加したことにより前連結会計年度末に比べ8億5千3百万円増加し、85億2百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績を踏まえ、平成25年11月7日に公表しました予想値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成26年2月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、平成26年3月期の期末配当につきましては、直近の平成26年3月期通期業績予想を踏まえ、平成25年11月7日に公表しました予想値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成26年2月7日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,734,041	1,872,045
海運業未収金	5,269	140,464
立替金	40,629	94,090
貯蔵品	364,161	489,339
繰延及び前払費用	29,500	67,623
その他流動資産	631,913	2,020,467
貸倒引当金	△1,394	△1,594
流動資産合計	2,804,121	4,682,436
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	43,287,827	40,410,193
建物(純額)	30,576	27,976
土地	47,971	47,971
建設仮勘定	1,695,066	4,833,898
その他有形固定資産(純額)	11,893	11,238
有形固定資産合計	45,073,335	45,331,279
無形固定資産		
投資その他の資産	4,296	3,526
投資有価証券	1,133,556	1,222,263
その他長期資産	1,157,109	230,841
貸倒引当金	△4,200	△4,200
投資その他の資産合計	2,286,465	1,448,905
固定資産合計	47,364,098	46,783,710
資産合計	50,168,219	51,466,146

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
海運業未払金	325,004	215,814
短期借入金	4,735,552	4,787,912
未払費用	75,663	68,772
未払法人税等	9,160	323,465
繰延税金負債	396,088	691,010
賞与引当金	40,018	9,892
その他流動負債	411,839	735,646
流動負債合計	5,993,327	6,832,514
固定負債		
長期借入金	33,654,280	33,220,094
繰延税金負債	573,511	662,136
退職給付引当金	361,572	311,525
特別修繕引当金	667,229	880,860
その他固定負債	1,268,973	1,056,325
固定負債合計	36,525,566	36,130,941
負債合計	42,518,894	42,963,456
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,850,000	2,850,000
資本剰余金	518,694	518,694
利益剰余金	4,595,454	5,023,295
自己株式	△2,318	△2,367
株主資本合計	7,961,830	8,389,622
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,960	206,571
繰延ヘッジ損益	△459,465	△93,503
その他の包括利益累計額合計	△312,505	113,068
純資産合計	7,649,324	8,502,690
負債純資産合計	50,168,219	51,466,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
海運業収益	8,059,886	9,299,139
海運業費用	6,796,680	7,565,628
海運業利益	1,263,206	1,733,511
一般管理費	498,756	477,715
営業利益	764,450	1,255,795
営業外収益		
受取利息及び配当金	23,277	6,731
貸倒引当金戻入額	24,515	—
持分法による投資利益	606,824	—
デリバティブ評価益	—	61,617
その他営業外収益	27,060	67,547
営業外収益合計	681,677	135,896
営業外費用		
支払利息	713,061	778,999
持分法による投資損失	—	2,414
その他営業外費用	22,957	2,771
営業外費用合計	736,018	784,186
経常利益	710,109	607,505
特別利益		
受取損害賠償金	140,702	388,654
特別利益合計	140,702	388,654
特別損失		
投資有価証券売却損	—	46,661
特別損失合計	—	46,661
税金等調整前四半期純利益	850,812	949,498
法人税等	260,831	521,657
少数株主損益調整前四半期純利益	589,980	427,841
四半期純利益	589,980	427,841



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	589,980	427,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,878	59,611
繰延ヘッジ損益	316,924	365,962
その他の包括利益合計	275,046	425,573
四半期包括利益	865,026	853,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	865,026	853,414

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。